



日本企業、欧州でのビジネス拡大の足掛かりに CeBIT を活用

情報通信技術とデジタル化に関する世界最大規模の見本市である国際情報通信技術見本市 CeBIT（セビット）を、欧州でのビジネス拡大に最適な足掛かりととらえ、出展する日本企業の数が増加している。次回の CeBIT は 2015 年 3 月 16 日から 20 日まで、ドイツ・ハノーバー国際見本市会場で開催される。ドイツメッセ株式会社 CeBIT 担当上級副社長の Marius Felzmann（マリウス・フェルツマン）は「ここ数年、日本企業の間で CeBIT への関心が急激に高まっている。CeBIT はビジネスへのフォーカスが明確であり、常に素晴らしい成果をあげてきた。CeBIT への出展によって、日本企業は潜在的なビジネス能力を発揮できるようになる」と説明した。

2014 年には、コニカミノルタ株式会社（従業員数：全世界で 4 万名超）が数年ぶりに CeBIT に出展。CeBIT 2015 ではホール 3 に出展し、最新の MPS（マネージド・プリント・サービス）ソリューションのほか、最先端のさまざまな出力ソリューションの紹介を予定している。

京セラ株式会社（従業員数：全世界で約 7 万名）は 2014 年に CeBIT への復帰を果たし、来場者の 9 割超が業界関係者であったことを非常に高く評価した。

ブラザーグループ（従業員数：全世界で約 3 万 3,000 名）は 2014 年の出展実績を活かし、CeBIT 2015 ではホール 3 にブースを拡大しての出展を予定している。セイコーエプソン株式会社（従業員数：全世界で約 7 万 3,000 名）もホール 3 への出展を選択した。同社は、CeBIT を国際的な事業開発プログラムの重要な要素ととらえている。

Felzmann は「近年、ホール 3 は入出力ソリューションと MPS に焦点をあてている。ホール 3 への出展は、潜在顧客の開拓やパートナーシップを求めて出展する日本企業に特に有効であることが実証されている」と述べた。



CeBIT

ドイツ・ハノーバーで毎年開催されている国際情報通信技術見本市 CeBIT は、世界のデジタル産業を牽引する見本市である。見本市と国際会議を融合したユニークな機会を提供し、グローバル企業から、中小企業、新興企業までの多数の企業や組織が、ビッグデータ、クラウドアプリケーション、モバイルソリューション、ソーシャルビジネス、IT セキュリティ、モノのインターネット (IoT) など、IT とデジタル化に関連するあらゆる分野について展示を行う。

CeBIT Global Conference (CGC) のプログラムは基調講演とフォーラムで構成され、デジタル産業のコア市場に焦点をあてる。CeBIT 2015 のメインテーマは「d!conomy」、公式パートナーカントリーは中国である。詳細はウェブサイトをご参照ください。 www.cebit.com

ドイツメッセ株式会社

ドイツ・ハノーバーを本拠地とするドイツメッセ株式会社は、世界 10 大見本市企業の一社であり、世界最大の国際見本市会場を運営している。2013 年には 3 億 1,200 万ユーロ（約 430 億円）の売上高を計上した。同年には世界各地で 119 の見本市と会議を企画、開催し、その出展社数は計 4 万 1,000、来場者数は計 400 万にのぼった。CeBIT (IT 通信)、HANNOVER MESSE (産業技術)、BIOTECHNICA (バイオテクノロジー)、CeMAT (イントラロジスティクス)、didacta (教育)、DOMOTEX (フロアカバリング)、INTERSCHUTZ (防災と救助)、LIGNA (木材加工・林業) などの、世界をリードする各種産業見本市を運営。従業員数は 1,000 名を超え、100 か国以上で計 66 の代表事務所、子会社、支店を展開している。

上記各見本市に関する詳細はハノーバーフェアーズジャパン株式会社へお気軽にお問い合わせ下さい：

ハノーバーフェアーズジャパン株式会社

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-5-1 TobunshaBLDG. 1 階

Tel: (03) 5215-7121

Fax: (03) 5215-7122

<http://www.hannovermesse.co.jp/>